



奪われた「いのちを見つめて」

— 被害者を家族が語る —

医療
過誤 原告の会

2022年6月発行 会報43号

医療事故被害者を家族が語る

〈30周年記念シンポジウム発表、寄稿〉より

主催●医療過誤原告の会

日時●2021年12月19日(日)

会場●全労連会館2階ホール(東京・御茶ノ水)

奪われた「いのちを見つめて」

会報43号発刊に当たって	医療過誤原告の会会長 宮脇正和	2
医療事故被害者を家族が語る(30周年記念シンポジウム発表、寄稿)より		
〈被害者〉妻悦子(1991年2月11日急死)を遺族が語る	永井裕之	3
看護師として元気に働いていた妻が医療過誤の被害に遭って…	美馬善三郎	8
夫のこと	山口由美	11
野球少年の夫が亡くなって12年～忘れられない温もり感触～	西本和子	14
娘「あゆ」の命を引き継いで	宮脇正和	17
母の医療事故から10年～裁判にまで至った家族の思い～	中島哲也	22
長男:大騎の想い出	篠原聖二	25
21年間生きた娘「真希」のこと	金坂康子	28
最愛なる夫と共に生き	藤原喜代美	31
母・仲佐タキの人生	杉田いずみ	36
脳炎後の後遺症「てんかんと生きる」	栗田勝次	38
私の娘、岡田愛里香	山田悦子	41
とらさん	長濱明雄	44
あふれるばかりの愛情を注いでくれた父 要介護の身体に	阪本則子	48
父のこと	清水紀子	51
利他のところ	雨宮萬里子	54
ヨミドクター「田村専門委員のまるごと医療」より		58
医療過誤原告の会 活動報告		60
ひき逃げ医療に絶対負けない「7原則」		63
編集後記		64